

平成 23 年 12 月 10 日（土）東京薬科大学 FD 実施委員会主催 東京薬科大学 FD 研修会（教育法に関するミニワークショップ）が開催されました。

タスクフォースは、薬学部 10 名、生命科学部 4 名。参加者は、生命科学部 22 名。学外からの見学者は、12 名でした。

【プログラム】

- 11:30～ 受付
- 12:00－12:25 オリエンテーション：カリキュラムとは
- 12:30－12:45 学習目標とは
- 12:45－14:00 グループ討議（学習目標とは）
- 14:00－14:30 発表（学習目標とは）
- 14:30－15:00 学習方略とは
- 15:00－16:00 グループ討議（学習方略とは）
- 16:15－16:45 発表（学習方略とは）
- 16:45－17:30 学習評価とは
全体のまとめ

《ミニFD ワークショップの様子》





《グループ討議 発表内容》

コース:ヒューマニズムについて学ぶ
 ユニット:生と死
 1年次後期 120名
 関連ユニット:医療の担い手としての心構え, コミュニケーション, チームワーク

一般目標: ことと目標とする, そのために必要な

生命に関わる職業人となることを自覚し, それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために, 人との共感的態度を身につけ, 信頼関係を醸成し, さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

行動目標 (学習的・学理的・生物学的的側面より) (領域)

- 1 人の誕生, 成長, 加齢, 死の意味を考える。 (知能) (倫理)
- 2 誕生に関わる倫理的問題を列挙できる。 (知能) (倫理)
- 3 死に関わる倫理的問題を列挙できる。 (知能) (倫理)
- 4 自らの体験を通して, 生命の尊さや医療の関わりについて討議する。 (知能) (倫理)
- 5 車椅子を扱うことができる。 (技能)
- 6 献血する。 (技能)
- 7 予防, 治療, 延命, QOLについて説明できる。 (技能)
- 8 医療の進歩に伴う生命観の変遷を説明できる。 (技能)

グループ A 学習目標

学習方略 Aグループ 1年後期 120人

| LS | SBO | 学習方法 | 場所 | 人的資源 | 物的資源 | 時間 | 予算 |
|----|-------|---------|-------|----------------|------|--------|------------|
| 1 | 1 | 講義 | 講義室 | 教員 | フリント | 45 | |
| 2 | 1 | SGD | 演習室 | | VTR | 45 | |
| 3 | 2 | 講義 | | | PC | 45 | |
| 4 | 2 | SGD | | | | 45 | |
| 5 | 3 | 講義 | | | | 45 | |
| 6 | 3 | SGD | | | | 45 | |
| 7 | 1/2/3 | 7Lセッション | | | | 90 | |
| 8 | 5 | 講義 | | テストセンター教員 | | 90 | 30,000 x 1 |
| 9 | 5 | 実習 | 学内 | ITインストラクター教員 | | 90 | 20,000 x 2 |
| 10 | 5 | 介護体験 | 公費の施設 | PT/OT/ST/7 教員? | | 70 x 2 | 20,000 x 2 |
| 11 | 4 | SGD | | 教員 | | 90 | 20,000 x 2 |
| 12 | 4 | 7Lセッション | | | | 90 | |
| 13 | 6 | 講義 | | | | 90 | |
| 14 | 6 | ロールプレイ | | | | 90 | |
| 15 | 7 | 講義 | | | | 90 | |

グループ A 学習方略

コース:ヒューマニズムについて学ぶ
 ユニット:生と死
 1年次後期 120名
 関連ユニット:医療の担い手としての心構え, コミュニケーション, チームワーク

一般目標: 具体的な行動目標, プリ

生命に関わる職業人となることを自覚し, それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために, 人との共感的態度を身につけ, 信頼関係を醸成し, さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

行動目標 (領域)

- 1 人の誕生, 成長, 加齢, 死の意味を考える。 (知能) (倫理)
- 2 誕生に関わる倫理的問題を列挙できる。 (知能) (倫理)
- 3 死に関わる倫理的問題を列挙できる。 (知能) (倫理)
- 4 自らの体験を通して, 生命の尊さや医療の関わりについて討議する。 (知能) (倫理)
- 5 車椅子を扱うことができる。 (技能)
- 6 献血する。 (技能)
- 7 予防, 治療, 延命, QOLについて説明できる。 (技能)
- 8 医療の進歩に伴う生命観の変遷を説明できる。 (技能)

グループ B 学習目標

学習方略 Bグループ

| LS | SBO | 学習方法 | 場所 | 人的資源 | 物的資源 | 時間 | 予算 |
|----|-----|------|-------|--------|----------------|------|------------------------------|
| 1 | 1 | 講義 | 講義室 | 教員1名 | フリント PPT | 70分 | 0 |
| 2 | 1 | SGD | セミナー室 | 教員2名補助 | フリント | 70分 | 200 x 10 = 2,000 |
| 3 | 2 | 講義 | 講義室 | 教員1名 | フリント, PPT, DVD | 140分 | 0 |
| 4 | 3 | " | " | " | " | " | " |
| 5 | 4 | " | " | 教員1名補助 | " | " | 300 x 2 = 20,000 |
| 6 | 5 | 実習 | 学外施設 | 教員1名 | フリント | 70分 | 0 |
| 7 | 6 | 講義 | 講義室 | 教員1名 | DVD | 70分 | 0 |
| 8 | 7 | 講義 | " | " | フリント, PPT, DVD | 70分 | 0 |
| 9 | 5 | 実習 | 学内 | 教員1名補助 | 車椅子 | 70分 | 車椅子1台 = 100,000 x 2 = 20,000 |
| 10 | 6 | SGD | セミナー室 | " | フリント | 70分 | 3,000 x 10 = 30,000 |
| 11 | 7 | SGD | " | " | " | " | " |

グループ B 学習方略

コース:生命の成り立ち
 ユニット:生命体の基本単位としての細胞
 2年次前期 130名
 関連ユニット:神経系, 骨格・筋肉系, 皮膚, ... 生命の調節機構, 小さな生き物たち

一般目標: 多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために, 細胞の増殖, 分化, 死の制御と細胞調節に関する基本的知識を習得し, それらを用いた基本的な観察と実験を身につける。

行動目標 (領域)

- 1 細胞系による組織構築について説明できる。 (知能)
- 2 組織, 細胞を構成する代表的な細胞の種類を列挙できる。 (知能)
- 3 代表的な組織と細胞について, 切片やスミアを作成し適切な方法で観察できる。 (技能)
- 4 代表的な細胞および組織な観察像を用いて観察できる。 (技能)
- 5 細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙できる。 (知能)
- 6 細胞内小器官を列挙できる。 (知能)
- 7 体細胞ならびに生殖細胞の分裂機構について説明できる。 (知能)
- 8 アポトーシスとネクローシスについて説明できる。 (知能)
- 9 代表的な細胞調節分子を列挙できる。 (知能)
- 10 代表的な細胞外マトリックス分子を列挙できる。 (知能)

グループ C 学習目標

学習方略 Cグループ 2年前期 120人

| LS | SBO | 学習方法 | 場所 | 人的資源 | 物的資源 | 時間 | 予算 |
|----|----------|------|-----|-------------|-------------|------|------------------------|
| 1 | 10, 11 | 講義 | 講義室 | 教員1名 | 教科書PPT | 70分 | 0 |
| 2 | 5, 6 | " | " | " | " | " | 0 |
| 3 | 3, 4, 12 | 実習 | 実習室 | 教員1名 TA 10名 | TA 10名 顕微鏡他 | 140分 | TA 30,000円 TA 100,000円 |
| 4 | 1 | 講義 | 講義室 | 教員1名 | 教科書PPT | 70分 | 0 |
| 5 | 2 | " | " | " | " | " | 0 |
| 6 | 9 | " | " | " | " | " | 0 |
| 7 | 3, 4, 12 | 実習 | 実習室 | 教員1名 TA 10名 | TA 10名 顕微鏡他 | 140分 | TA 30,000円 TA 100,000円 |
| 8 | 7 | 講義 | 講義室 | 教員1名 | 教科書PPT | 70分 | 0 |
| 9 | 8 | " | " | " | " | " | 0 |
| 10 | 14 | 実習 | 実習室 | 教員1名 | TA 10名 顕微鏡他 | 140分 | TA 30,000円 TA 100,000円 |
| 11 | 13 | SGD | 実習室 | " | フリント | 70分 | TA 15,000円 |

グループ C 学習方略

コース: 生命体の成り立ち
 ユニット: 生命体の基本単位としての細胞
 2年次前期 120名
 関連ユニット: 神経系、骨格・筋肉系、皮膚、...、生体の調節機構、小さな生き物たち

一般目標:
 多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらに扱うための基本的な態度と技能を身につける。

行動目標 (領域)

- 細胞集合による組織構築について説明できる。 知識 理解
- 臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙できる。 知識 想起
- 代表的な組織と細胞について、切片やスミアを作成し適切な方法で染色できる。 技能 理解
- 代表的な細胞および組織を顕微鏡を用いて観察できる。 技能 理解
- 細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙できる。 知識 想起
- 細胞内小器官を列挙できる。 知識 想起
- 体細胞ならびに生殖細胞の分裂機構について説明できる。 知識 理解
- アポトーシスとネクローシスについて説明できる。 知識 理解
- 代表的な細胞接着分子を列挙できる。 知識 想起
- 代表的な細胞外マトリックス分子を列挙できる。 知識 想起

グループD 学習目標

学習方略 Dグループ 2年前期 120名

| LS | SBOs | 学習方法 | 場所 | 人的資源 | 物的資源 | 時間 | 予算 |
|----|-------|------|-----|--------------|--------|------|-------------------|
| ① | 5.6.8 | 講義 | 講義室 | 教員×1 | プロト/PC | 70×2 | 0 |
| ② | 4 | 実習 | 実習室 | 教員×1 TA×6 | 実習費 | 70×3 | 4,000×6 |
| ③ | 9 | SGD | 演習室 | 教員×1 TA×4 | PC | 70×2 | 3,000×4 |
| ④ | 7 | 講義 | 講義室 | 教員×1 | プロト/PC | 70×1 | 0 |
| ⑤ | 11 | 実習 | 実習室 | 教員×1 TA×6 | 実習費 | 70×3 | 4,000×6 |
| ⑥ | 1.2 | 講義 | 講義室 | 教員×1 | プロト/PC | 70×2 | 0 |
| ⑦ | 3 | 実習 | 実習室 | 教員×1 TA×6 | 実習費/試料 | 70×3 | 30,000 4,000×6 |
| ⑧ | 10 | SGD | 演習室 | 教員×1 TA×4 | PC | 70×2 | 3,000×4 |

グループD 学習方略